

## 施策展開・事業内容について

### 〔基本政策Ⅰ〕豊かな海づくりと持続的漁業の確立

#### 1. 環境・生態系の保全と漁場の管理

高度成長期に工場などからの排水が原因で、日本各地の漁業などに深刻な被害が出たため、排水規制などで水質改善が進んだ結果、2000年頃から瀬戸内海では、プランクトンのエサの元となる栄養塩類が不足したことが原因で、イカナゴやタコの歴史的不漁、海苔の色落ちなどが顕在化しています。

持続可能な水産業が成立するには、水産資源を育む地先海域の環境保全だけではなく、水田やため池、河川の保全に加え、下水道や工場からの排水管理など、栄養塩類の循環バランスを適切に保つことで、水生生物の生態系や水産資源への配慮、生物多様性等、きれいなだけでなく豊かな水環境の保全へ寄与することが期待されています。

また、海の生物資源は、漁獲されることによってその増殖速度を高めることから、生物資源と漁業は相利共生の関係にあります。しかし、漁場への過度な漁獲圧力は、資源状況を悪化させ、漁業そのものの崩壊を招くこととなります。そこで、資源を育む環境・生態系の保全と適正な漁場の管理を行い、持続的な生産環境の実現を目指します。

#### (1-1) 沿岸域環境の保全・改善

豊かな海を実現するため窒素やりんなどの栄養塩類の循環バランスを適切に保つため、陸域からの栄養塩の供給等、人為的な栄養塩の調整を実施し、栄養塩不足を解消して、沿岸域の水産資源の増大を図ります。

##### ① 事業内容

##### 下水処理場の栄養塩類管理運転

事業内容	排水基準と沿岸域の栄養塩環境の適正化のバランスを保ちながら、市内4つの下水処理場の管理運転により、沿岸域の栄養塩環境の適正化に努めます。
関係者	水産技術センター、市

##### ため池のかいぼりの推進

事業内容	農業者と漁業者の協働により実施される、沿岸域の栄養塩環境にも有益な「かいぼり」活動を促進します。
関係者	農業者、漁業者、市

##### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
沿岸域の栄養塩環境が改善され、養殖ノリの色落ちの解消やマダコやイカナゴなど水産資源の回復が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸域の栄養塩濃度（増加）</li> <li>マダコの漁獲量（増加）</li> </ul>

(1-2) 資源の適正な管理と利用

研究機関等との連携のもと、沿岸域の資源量及び適正漁獲量を把握するとともに、漁業者・漁協を中心に流通業者、遊漁者を含めた資源管理体制を構築し、資源の適正な管理と利用の実現を図ります。

① 事業内容

種苗放流・バックフィッシュ運動

事業内容	マダイ、ヒラメなど有用魚種の種苗放流、商品としての価値が低い小魚のリリース等、資源を増やす取り組みを促進します。
関係者	漁業者、水産技術センター、県漁連、漁協、市

産卵用たこつぼの投入、子持ちだこの再放流

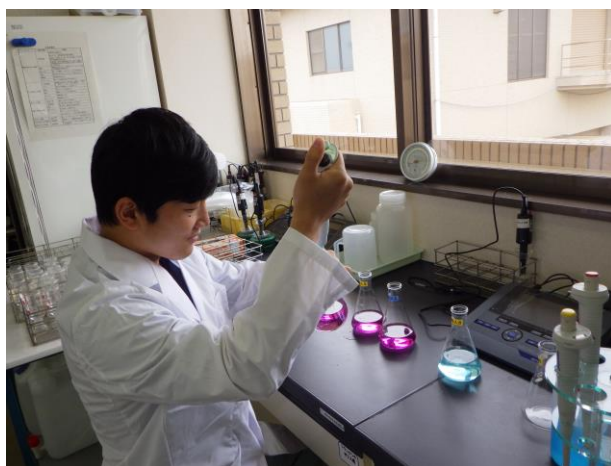
事業内容	素焼きの産卵用たこつぼを投入しマダコの産卵、育成場をつくとともに、操業中に、そのたこつぼの中で産卵した親タコを捕獲した際には、たこつぼごと海へ再放流する取り組みも同時に実施することでマダコの資源保護に努めます。
関係者	漁業者、漁協、市

資源維持型漁業の推進

事業内容	研究機関等との連携のもと、沿岸域の資源量及び適正漁獲量を把握するとともに、遊漁船業者の資源管理、休漁期間や禁漁区の設定等による資源維持型漁業の確立を目指します。
関係者	漁業者、漁協、水産技術センター、市

② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
有用な水産資源が増加・安定し、漁獲量の維持・増大により、漁業経営の改善が見込まれる。また、燃油使用量の削減やCO2排出量の削減が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁獲量（資源維持と経営安定）</li> <li>・燃油使用量（減少）</li> </ul>



下水道の管理運転



産卵用たこつぼの投入

### (1-3) 漁場の維持・管理と環境改善

小魚やタコの産卵場・育成場としての機能を併せもつ魚礁や増殖礁の沈設に加え、窒素やりんなどの栄養塩類添加実験を行い、沿岸域の漁場の維持・管理と環境改善を図ります。

#### ① 事業内容

##### 魚礁・増殖場の維持・管理

事業内容	鹿之瀬漁場開発事業等に漁場や増殖場等を新規造成し、また、造成された施設の維持・管理を支援することにより、効率的な漁業活動に寄与します。
関係者	漁業者、水産技術センター、市

##### 施肥・藻場造成など漁場環境の改善

事業内容	2022 年から試験的に実施している施肥事業や国の水産多面的機能発揮対策事業等に合わせて実施されている漁業者による藻場造成などを推進し、漁場環境の改善を図ります。
関係者	漁業者、漁協は、水産技術センター、市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
漁場環境が改善され、漁業資源の増大が見込まれるほか、藻場の増加により、水質改善、温暖化対策、生物多様性の効果が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・総漁獲量（増加）</li><li>・底生生物量（増加）</li></ul>



魚礁の設置



園児の稚魚放流

## 2. 魅力ある水産業の担い手づくり

明石市は、全国水準に比べて漁業就業者の高齢化の進行は緩やかとはいえ、就業者数の減少が30年以上前から続いています。漁業就業者の減少が進んだ要因は、漁業の所得水準の低さと不安定性、長時間労働など労働環境への不満、第2次、3次産業への移行に加えて世襲的な職業構造や漁村の閉鎖性にあります。

漁業を魅力ある産業に育てるとともに、次世代の水産業を担う漁業後継者の育成を図り、持続的な漁業生産が維持できる人的環境の構築を目指します。

### (2-1) 次代水産業の担い手の育成

漁業者の研修活動等を通じて、地域に集積した漁業や養殖業の技術を伝承し、次世代水産業を担う意欲ある漁業後継者の人材の確保と資質の向上を図ります。

#### ① 事業内容

##### 漁業後継者等の研修支援

事業内容	漁業後継者の研修活動を支援し、次代の水産業を担う意欲ある人材を育てます。
関係者	漁業者、県漁連、漁協、市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
次代の水産業を担う後継者の資質が向上し、明石市漁業の維持・発展が実現する。	・研修会の実施回数、参加者数（増加） ・研修による新たな実践活動（増加）

### (2-2) 漁労作業の軽減と安全性の確保

漁業就業者が減少し、高齢化する中、漁船や漁労機器の老朽化等により生産効率が低い経営体に対し、設備近代化のための支援を行い、漁労作業の軽減と安全性の確保等、漁業の合理化を図ります。

#### ① 事業内容

##### 設備近代化のための支援

事業内容	漁船や漁業施設の老朽化により生産効率が低い漁業経営体に対し、漁船および漁業施設等の近代化を支援します。
関係者	市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
漁業設備の近代化により、漁労作業の軽減と安全性の確保が図られ、漁業就業者の減少の抑制が見込まれる。	・漁船や漁業施設の更新実績（増加） ・就業中の事故件数（減少）

### 3. 漁業経営の基盤強化

養殖ノリやマダイ、マダコをはじめ多くの水産物価格は比較的安定しているものの、海の栄養塩類の不足などの原因により、イカナゴやマダコ、カレイなど漁業生産量の低下は継続しています。また、漁業経費は、燃油価格の高騰や施設の老朽化の影響から増大傾向にあり、経営基盤は脆弱な状況にあります。こうした状況が続けば、漁業後継者が確保されないだけでなく、安心、安全で新鮮な水産物の供給機能が損なわれる恐れがあります。

収入を増やすための漁業者の経営努力はもちろん、競争力のある効率の良い経営を実現するために、市の独自の支援策に加え、国や県との連携のもとで、生産性向上、経費の削減及び労働時間の改善を図るとともに、品質管理、衛生管理をより一層徹底することで品質の良い水産物の供給を図ります。

また、漁協経営の健全化のため事業連携等を検討し、漁協の主導により販売力を強化する等、漁業者の収益性向上につながる取り組みが求められます。

#### (3-1) 漁業経営の安定化

ノリ養殖業における大型機械や冷蔵施設等の導入をはじめ、省エネ漁船・漁具を導入するとともに、漁業共済等の加入内容を充実して災害時・不漁時の収入減を回避することにより、漁業経費を削減し、安定した漁業経営を実現する取り組みを支援します。

##### ① 事業内容

##### 大型機械や冷蔵施設等の導入支援

事業内容	競争力のある効率の良い経営を実現するため、ノリ養殖業における大型ノリ自動乾燥機や冷蔵施設等の導入をはじめ、漁船漁業等の経費削減対策として漁業者が行う省エネ漁船・省エネ漁具等の導入を支援します。
関係者	漁業者、漁協、県漁連、国、県、市

##### 低コスト操業の推進

事業内容	過剰な設備投資を抑制するとともに、漁船の減速等による燃料消費量の削減を促進し、漁業コストの削減による漁業経営の改善を図ります。
関係者	漁業者、県漁連、漁協

##### 漁業共済・漁船保険の加入支援

事業内容	漁業共済、漁船保険への加入や加入内容の充実化を推進し、漁業者収入の不安定性の解消に努めます。
関係者	漁業者、漁業共済組合等、市

##### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
生産性向上、経費の削減、労働時間の改善、品質向上及び災害時・不漁時における収入の減少がにより漁業経営の改善が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖経営体の所得（増加）</li> <li>・漁業共済、漁船保険の加入実績（増加）</li> </ul>



### (3-2) 漁協経営の健全性の確保

漁業者が漁業活動に専念するため、漁協経営の健全性は必須です。生産高が減少し漁協経営が不安定な事態を打開し、漁協が安定的な収益を得るため、漁協間の事業連携等、業務の効率化とともに、新たな経済事業に向けた取組みを支援します。

#### ① 事業内容

##### 漁協間の連携強化による事業の効率化

事業内容	漁協間の事業連携の強化を促し、日常業務の効率化による漁協経費の削減と漁協収入の安定化を図ります。
関係者	漁協、市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
漁協間の事業連携が実現することで、余剰人材が創出され、収益を生み出す新たな事業の展開が可能となる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 漁協間事業連携の実績（増加）</li><li>・ 漁協の事業別経費（減少）</li></ul>



大型ノリ自動乾燥機

## 〔基本政策Ⅱ〕 市民目線による明石ブランドづくり

### 4. 高品質な水産物の供給

地域団体商標登録されている「明石鯛」や、同出願中の「明石だこ」、「明石のり」をはじめ、明石産の水産物はブランド力があり、消費者の高い評価を得ています。明石海峡が生み出す漁場環境が優れていることや、明石の魚介類の多くが活魚として出荷されることがこうした高い評価をもたらしています。しかし、一方で一部の流通関係者からは品質のバラツキも指摘されています。

安全で安心な高品質の明石産の水産物を供給することはもちろん、産地イメージを高め、産地価格を向上するため、生産者、流通業者、小売業者の連携により、明石ブランドを管理する仕組みを構築し、信頼される産地ブランドづくりを目指します。

#### (4-1) 安全・安心な水産物供給体制の構築

漁業者や漁協、市場関係者、仲買業者、水産加工業者、鮮魚小売業者等、水産業に関わる全ての関係者が連携した水産物の供給体制を構築し、水産業の産業としての第一の目的である、安全で安心できる魚介類の供給を図ります。

##### ① 事業内容

##### 漁獲物の品質管理の徹底

事業内容	安心・安全かつ高品質な水産物を出荷することにより、信頼されるブランドづくりを目指します。
関係者	漁業者、漁協、県漁連、市場関係者、仲買業者、小売業者、市

##### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
明石産水産物のブランド力が高まることで、魚価向上が見込まれる。	・明石産魚介類の価格(適正を維持)

## 5. 水産物流通・加工基盤の強化

漁獲量の減少する中で、供給量や品質を保ち明石産を明確にするなど、漁協間の連携等による共同出荷を検討します。

また、蓄積された加工技術を活用し、地魚を使った新たな加工品の開発と普及により、水産加工業の発展のみならず、魚価の向上や観光収入の増加等、幅広い効果を目指します。

さらに、消費の中心が商品からサービスへと移行している中、漁業者や漁協が獲って売っただけのスタイルから脱却し、地域の様々な関係者と連携して生産物の加工や直販、レストラン、体験漁業や環境学習、遊漁等の海洋性レクリエーションの導入等のサービス要素を取り入れる6次産業化を支援します。

### (5-1) 産地販売体制の再構築

漁獲物の販売面での漁協間の連携を強化し、明石産魚介類の流通のあり方を再検討し、漁業者の労働負担の軽減と合理的・効率的な漁獲物販売体制の実現を目指します。

#### ① 事業内容

##### 市場機能の合理化・効率化

事業内容	市場機能の合理化・効率化を図るため、漁協間の連携等による共同出荷を検討します。
関係者	漁協、市（公設市場）

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
効率的な流通のしくみが形成され、漁業者や流通関係者の負担・費用の軽減と魚価の安定、新たな地魚販売の展開に寄与する。	・魚価（上昇） ・集荷、出荷にかかるコスト（削減）



## (5-2) 明石ブランドの拡充

価格が下落傾向にあるマダイやサワラ等の明石を代表する魚介類の消費量を増やすため、関西地区のみならず関東方面等への明石産水産物の出荷を強化し、消費圏の裾野を広げること等により、明石ブランドの拡充を図ります。

### ① 事業内容

#### 明石ブランドのPRと管理

事業内容	明石産水産物の特徴を的確に把握し、他産地との差別化を推進します。また、ブランドのPR活動を進めるとともに、漁協を中心とした漁業者による徹底したブランド管理を行い、ブランド価値の維持・向上を目指します。
関係者	漁業者、漁協、流通業者、市

#### 広域流通の拡充

事業内容	明石産魚介類の流通圏を関東方面にまで拡充する取り組みにより、明石産水産物の魚価適正化の実現に努めます。
関係者	漁協、仲買業者

### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
明石産水産物のブランド力が高まることで、魚価向上が見込まれる。また、新たな流通チャネルの創出により、大量漁獲時の魚価の暴落が回避される。	<ul style="list-style-type: none"><li>・明石の主要魚種の価格（適正を維持）</li><li>・明石の主要魚種の関東出荷量（増加）</li></ul>



明石鯛（地域団体商標）

### (5-3) 水産加工業の推進

地魚を原料とする加工品の創出は、魚価の向上や観光業等の他産業への波及効果も期待できることから、未利用魚や低利用魚を中心に、地魚を原料とする新たな水産加工品を開発・普及を図り、漁業との連携による水産加工業の発展を目指します。

#### ① 事業内容

##### 蓄積された技術を活かした加工の推進

事業内容	開きサンマやボイルタコ等で培われた水産物の加工技術を活かし、低利用魚・未利用魚等を原料とする新たな水産加工品を開発、普及する取り組みを支援します。
関係者	漁協、県漁連、水産加工業者、市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
新たな明石の特産品が創造されるほか、市場評価が低い未利用・低利用魚の有用資源化が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発された水産加工品のアイテム数 (増加)</li> <li>未利用魚、低利用魚の価格 (増加)</li> </ul>

### (5-4) 地産地消の推進

夏に旬を迎える明石だこ、冬に旬を迎える明石のりに親しみと愛着を持ってもらい、消費を喚起するため、漁業者、商業者団体、小学校などが連携し、加工品販売や直販等、地産地消の取り組みを推進し、市民の購入及び消費の場の拡充を目指します。

#### ① 事業内容

##### 地場産品の普及イベントの取り組み支援

事業内容	生産者や商業者等によるイベントなど地場産水産物の普及のイベント活動を支援し、地産地消を推進します。
関係者	漁協、県漁連、商業者、商工会議所、市

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
本物の明石産を購入できる窓口が増え、明石の魚に対する市民の愛着心が向上する。また、明石産PR効果も期待される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>明石のりの漁協直売金額 (増加)</li> <li>メディアへの露出回数 (増加)</li> </ul>

## 〔基本政策Ⅲ〕「さかなのまち」明石のプライド育成

### 6. 魚食文化のまちづくり

魚介類の販売力を高めるためには、「イカナゴのくぎ煮」の例のように、農商工連携等を通じた新たな需要の創出や、かつて存在していたタコ飯やベラの南蛮漬けなど明石に受け継がれる伝統料理のPRと需要の復活が重要です。また、こうした地道な活動により、「魚離れ」に歯止めをかけ、「魚のまち」明石ならではの魚食文化の再生・定着を目指します。

#### (6-1) 明石に根付く魚食文化の普及・啓発

県漁連が実施する魚の捌き方教室や地魚を使った料理教室、学校園での食育等を支援し、郷土料理のタコ飯、イカナゴのくぎ煮をはじめ、鯛茶漬け、タコのうま煮等、明石に古くから伝わる地魚を使った伝統的な料理により、魚食文化の普及・啓発を図ります。

##### ① 事業内容

##### 魚食文化の継承と創出

事業内容	「魚のまち」明石市の地域に根付く優れた魚食文化を次世代に継承するため、タコ飯等の明石ならではの魚食文化の創出と継承を推進します。
関係者	市民、漁協、県漁連、市

##### 食育活動の推進

事業内容	若年世代の水産物消費の拡大を図るには、幼少期から水産物に親しむことが重要であることから、学校園等において魚や料理に接する機会を創出する取り組みを推進します。
関係者	市民、県漁連、学校園、市

##### 漁業関連体験プログラムの実施

事業内容	地域の産業・文化の理解、漁業への関心を深めるため、地元小・中学生を対象に、漁業体験、市場見学等を実施し、明石が誇る魚への愛着心を刺激する教育プログラムを推進します。
関係者	漁業者、漁協、水産技術センター、学校園、市

##### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
子どもたちが明石の地魚に親しみ、愛着を持つことにより、将来にわたり安定した水産物消費が確保され、明石に根付く魚食文化の継承や新たな魚食文化の創出による地魚消費の増大が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚食普及や食育活動の実施件数 (増加)</li> <li>・ 漁業関連体験プログラムの参加者数 (増加)</li> </ul>

(6-2) ライフスタイルにあった魚食普及

消費者ニーズにあった商品開発や調理方法の提案等、現代のライフスタイルに合った魚食普及を支援します。

① 事業内容

消費者ニーズにあった魚食普及支援

事業内容	消費者ニーズにマッチした調理方法の提案や商品開発を行う等、現代のライフスタイルにあった魚食普及を推進します。
関係者	水産加工業者、小売業者、市

② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
若齢世帯を中心とする魚離れが解消され、魚食普及が実現する。	・新たな地魚料理法の開発件数（増加） ・地魚を使った商品の開発件数（増加）



明石産の水産物を使った料理の数々

## 7. 美しい漁村と海面・漁港利用のための秩序形成

海岸や漁港の維持・管理は主に漁協の職員や組合員が担っており、定期的な清掃活動が行われていますが、美しい海岸や漁港の恩恵は、漁業者だけでなく市民全体で享受しています。市民が海岸清掃活動等に参加することを促し、美しい海岸や漁港を守り、その魅力を次世代に継承することを目指します。

また、明石市の沿岸海域は、豊かな資源に恵まれ、都市近郊に位置するという遊漁者にとって絶好の条件を備えており、プレジャー船を漁港内に係留し、係留方法や操縦方法など、漁業者とのトラブルが多発しています。漁港は漁業者にとって生活を支える場であり、安全かつ効率的な操業を阻害する事態は回避しなければなりません。同時に、遊漁者にとっても憩いの場として貴重な資源であるため、漁業者と遊漁者が共存できる環境づくりを目指します。

### (7-1) 海浜・浮遊・海底ゴミの回収

漁業者が操業中に海底ゴミや浮遊ゴミ、養殖施設に絡まったゴミを回収します。また、海岸・漁港の清掃活動に、市民の参加・協力を促し、市民の憩いの場として、また観光資源として明石市が誇る美しい漁村を守り、その魅力を次世代へ継承していきます。

#### ① 事業内容

##### 海岸清掃活動支援

事業内容	海岸や港内に漂着するゴミを漁業者や市民が回収し、美しい海を維持する活動を支援します。
関係者	市民、漁業者、漁協、市

##### 浮遊ゴミ・海底ゴミの回収支援

事業内容	漁業者が操業中に引き揚げた疑似餌や、養殖施設に絡まったゴミを回収するシステムを構築し、漁場環境の改善に対する取り組みを支援します。
関係者	漁業者、漁協、市

##### 漁業廃棄物の減量化

事業内容	漁具や漁業資材の再利用を促進し、漁業廃棄物の減量化を図ります。
関係者	漁業者、漁協、県漁連

#### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
美しい海岸線・港が維持され、明石市民の憩いの場が確保される。また、漁場環境が改善され、沿岸域資源の増大が見込まれる。更に、漁業廃棄物の減量化による環境への負荷軽減が図られるほか、処理費用の縮減が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸清掃活動の実施回数、参加者数 (増加)</li> <li>・海底ゴミ、浮遊ゴミの回収量 (増加)</li> <li>・漁業系廃棄物の排出量 (減少)</li> </ul>

## (7-2) 海面・漁港利用の適正化

漁港内におけるルールづくりを推進し、漁業者と遊漁者の共存にむけた漁場・漁港の利用の適正化と管理体制の構築、利用者のモラル醸成により、トラブルの軽減を図ります。

### ① 事業内容

#### 海面の利用調整

事業内容	漁協所属の遊漁業者の組織化を図り、市漁連や漁業調整委員会との連携のもと海面の利用調整、トラブルの解消に努めます。
関係者	漁協、遊漁者、兵庫県、市

#### 漁港施設の監視・管理

事業内容	漁港施設内への廃棄物の不法投棄等を防止するための監視体制づくりを推進するとともに、漁港利用者に対するモラル等の啓発活動を強化します。
関係者	漁協、市

### ② 期待される事業の効果と事業の評価指標

期待される効果	事業の評価指標
漁業者と遊漁者のトラブルが減少し、操業の効率化が図られる。また、漁港施設内での事故・犯罪の防止が図られる。	・ 漁港や漁場でのトラブルの発生件数 (減少) ・ 漁港や漁場での事故発生件数 (減少)



林崎漁港のイカナゴの水揚げ